



# Super head+B キット 取扱説明書

商品番号 : 01-03-8105  
適応エンジン : LI FAN製 1P52FMI 2B10 エンジン専用  
: 弊社コンプリートエンジン(プライマリースタート式)

- ・このたびは、弊社製品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願いいたします。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

## ～特徴～

このシリンダーヘッドはインテークバルブ/エキゾーストバルブ共、傘径を大型化、ステム径を小径化し、バルブ挟み角及びポート形状全てを専用設計したシリンダーヘッドです。バルブロッカーアームには、スリッパ部にローラーベアリングを採用し、ロッカーアーム本体を、アルミ鍛造製とすることで、ベアリングにより増した重量を克服、その結果相乗効果により、高回転域での出力アップに成功しました。

又、STDシリンダーヘッドでは、シリンダーヘッド搭載時のカムシャフト交換が困難でしたが、このモデルはカムシャフトのOILライン側のベアリングをシリンダーヘッド側に残し、ロッカーアームを取り外さなくても、カムシャフトが外せる為、車両にエンジン搭載状態でもカムシャフト交換が容易に行えます。さらにカムシャフトにオートデコンプを装着したことにより、容易にキックスターアームを踏み抜きやすくし、キックシャフトやギアへの負担を軽減します。

## ご使用前に必ずお読み下さい

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

この製品は、上記適応エンジン専用品です。適応エンジン以外には取り付け出来ませんのでご注意ください。

(後ページに弊社コンプリートエンジン対応確認の説明を記載しています。)

この取扱説明書は基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。

この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

製品を加工等された場合や取り付けされた場合は、保証の対象にはなりません。

他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

シリンダーヘッドにシリアルNo.を刻印してあります。部品注文時にシリアルNo.が必要になる場合があります。

ボルト、ナットの一部は再使用しますが、摩耗や損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。

液体パッキン等は使用しないで下さい。オイル通路を塞ぐ可能性があり、最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。

燃料は必ずハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。また、燃料タンクのガソリンにも注意して下さい。レギュラーガソリンが残っている場合はハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

スパークプラグは焼け具合により熱価を設定して下さい。尚、必ず抵抗入りの物をご使用下さい。

点火系は弊社製インナーローターキットのみ適合とします。LI FANエンジンの備え付け点火系を使用の場合、クランクシャフトに負担がかかり破損する可能性があります。他社製品との組み合わせのデータはありません。また、トラブルの原因にもなりますので絶対行わないで下さい。

### (弊社コンプリートエンジンは除く)

必要に応じてオイルクーラーを装着して下さい。

エンジンオイルはAPI SF級以上で、SAE 10W-40/15W-50程度の物をご使用下さい。

スプロケットは出力、仕様に応じた物に変更して下さい。

シリンダーヘッドキットとして購入された場合は、このキットは単独で使用出来ません。(弊社コンプリートエンジンに使用する場合は除く)

「弊社専用エンジンパーツ」を購入していない場合は、専用パーツをご購入下さい。

このキットは弊社推奨エンジンパーツのみ対応しております。対応していないパーツは弊社推奨エンジンパーツに交換して下さい。

このパーツはクロズド競技用として開発した商品ですので、一般公道では使用しないで下さい。

## 急発進・急加速

空ぶかし、急加速、急激なエンジンブレーキはエンジンに高負荷がかかります。最悪の場合はクランクシャフトが破損し、エンジンを壊してしまう恐れがありますのでご注意ください。

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。あらかじめご了承下さい。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

**注意** この表示の内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・このパーツはクロズド競技用として開発した商品ですので、一般公道では使用しないで下さい。
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時35以下(エンジンおよびマフラーが冷えている時)で行って下さい。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、十分注意して作業を行って下さい。(ケガの原因となります。)
- ・ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。(部品の摩耗や損傷等で、エンジントラブルの原因となります。)



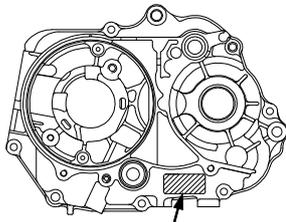
## 警告

この表示の内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・技術、知識の無い方は、作業を行わないで下さい。(技術、知識不足による作業ミスで、部品破損により、事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ、安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・ガソリンは非常に引火しやすい為、一切の火気を避け、燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。(火災の原因となる恐れがあります。)
- ・規定トルクは必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。(ボルト及びナットの破損、脱落等で事故につながる恐れがあります。)
- ・指示部品以外の部品の使用は、一切行わないで下さい。(部品破損により、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け、損傷部品の交換を行って下さい。(そのまま使用すると、部品破損により、事故につながる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・走行前は必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みの有無を確認し、緩みがあれば規定トルクで増し締めを行って下さい。(部品脱落等で、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・燃料は必ずハイオクタン価ガソリンを使用して下さい。(ノッキング等のトラブルで事故につながる恐れがあります。)

### 弊社コンプリートエンジンに使用する場合

弊社コンプリートエンジンに取り付ける場合、下図の箇所に刻印している**エンジン番号**と**対応エンジン番号**を照合し、取り付けて下さい。  
対応エンジン番号CSMP 00001~



エンジンNo打刻位置

### 走行前の注意

#### 使用燃料について

燃料タンクにレギュラーガソリンが残っている場合は必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

このキットを取り付けると純正クラッチでは、滑ってしまう可能性があります。弊社強化クラッチキットを装着して下さい。

#### スプロケットの変更 (LI FAN製エンジンの場合)

このキットを取り付けると出力がアップします。ノーマルのスプロケットのままではローギアすぎになる為、各部の磨耗が激しくなり、エンジン寿命に悪影響を及ぼすだけでなく最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。スプロケットのハイギア化を行って下さい。

**このキット単体では使用することは出来ません。**

**専用のポアアップキットをご購入下さい。**

**LI FAN製エンジンに使用する場合**

**フルキット購入時除く**

### その他

#### オイルクーラー

このキットを取り付けると出力アップに伴い、エンジン発熱量が増大します。エンジンに長時間の負荷を与える走行には、油温を適切に保ち、高温時に発生する油膜切れ等を防止するオイルクーラーキットの装着をお勧めします。

### カムシャフトについて

シリンダーヘッドキット単品にてご購入された場合は、別途専用カムシャフトが必要です。カムシャフトは用途によって数種類のプロファイルを用意しております。又、フルキットにて購入され同梱されているカムシャフト以外に、オプション品として検討して頂けます。

本キットには、インスペクションキャップとブリザーキャップを同梱しております。ブリザーキャップを使用する場合は、必ずオイルキャッチタンクとの併用し、ご使用下さい。

### 使用回転数

使用限界回転数は使用されるカムシャフト等で異なります。エンジン回転計を取り付け、必ず最大出力回転数以下でご使用下さい。

特に、空ぶかし時や1速ギア、2速ギアでの急加速時は使用限界回転数に入りやすいのでご注意ください。使用限界回転数以上でご使用されますと、エンジン回転が不円滑になり、エンジン寿命に悪影響を及ぼすだけでなく、最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。

### オプションバルブスプリングリテーナー

このスーパーヘッドは、チタンバルブスプリングリテーナーのオプション品を用意しております。スチールリテーナーに比べ約30%の軽量を実現しております。表面にはHV1000以上もの表面硬度をもつ特殊コーティングを採用しております。耐衝撃性、耐摩耗性を向上させています。

品番01 12 084 (2個) ¥7,140



シリンダーヘッドには、管理NoとしてヘッドNo（シリアル）を打刻してあります。

リペアパーツ発注時、このヘッドNoが必要となる場合があります。リペア品番がわからない等で、リペアパーツが発注出来ない時は、下記の例を参考に発注して下さい。

シリンダーヘッド左側面に打刻してあるNoをひかえる。

ヘッドNo - CSM - 00001

発注例 スーパーヘッドキット、リペア

ヘッドNo - CSM - 00001 インテークバルブ

数量1本



ヘッドNo打刻位置  
CSM-00\*\*\*

### 弊社推奨エンジンパーツ

（L I F A N製エンジン使用の場合）

本キットは弊社推奨エンジンパーツのみ対応しております。

対応していないパーツは推奨パーツに交換して下さい。

推奨パーツ		
点火系	スーパーストリートアウターローターキット	05 02 0009
クラッチ	スペシャルクラッチキット(クラッチカバー付)	02-01-0015
	強化クラッチキット(5 DISK)	02 01 0008
キャブレター	京浜PE28キャブレターキット	03-03-027 (単品)
	三国VM26キャブレターキット	03-03-0321 (単品)
マニホールド	マニホールドキット	03 02 2564
カムチェーン	強化カムチェーンキット(90L)	01 14 0005

キャブレターを取り付ける場合、別途ラバーインシュレーターが必要となります。

京浜PE28用ラバーインシュレーター(00 03 0211)

三国VM26用ラバーインシュレーター(00 03 0210)

### オプションカムシャフトについて

本キットに使用出来るカムシャフトを数種類ご用意しております。

用途に合ったカムシャフトを選択し、ご使用をお楽しみ下さい。

S 12Dカムシャフト	01 08 0101	オプション品
S 15Dカムシャフト	01 08 0102	ボアアップ同梱品 L I - F A N用
S 20Dカムシャフト	01 08 0103	オプション品
S 25Dカムシャフト	01 08 0104	オプション品
S 30Dカムシャフト	01 08 0105	オプション品
S 35Dカムシャフト	01 08 0106	オプション品

カムシャフトの名称について

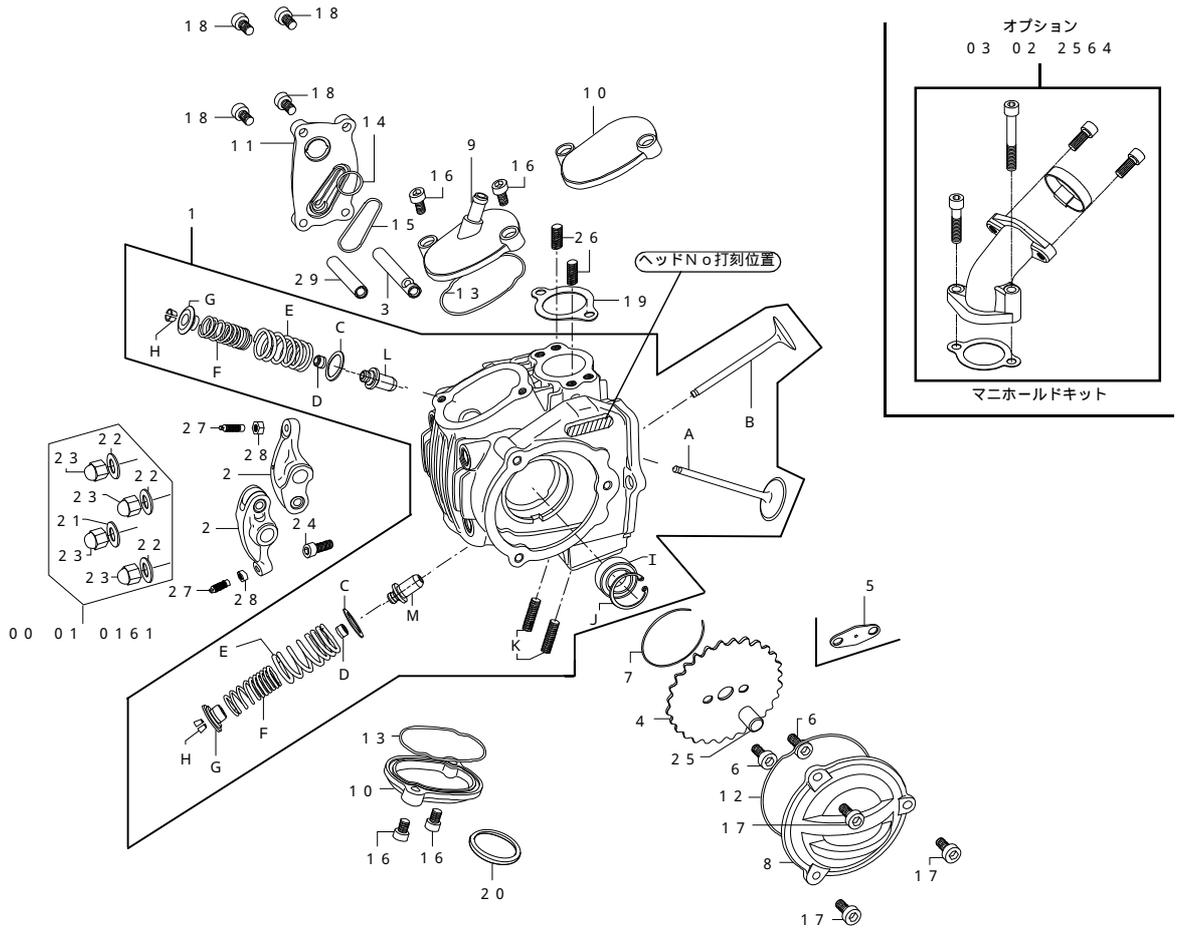
/ の数字が大きいカムシャフトほど作用角が広く、高回転域で高い出力を発揮し、低中速回転域で出力が抑えられます。

逆に数字が小さいカムシャフトほど作用角が狭く、高回転域での出力が抑えられ、低中速回転域で高い出力を発揮するように、出力特性が移行します。

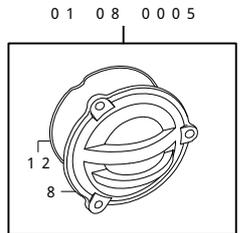
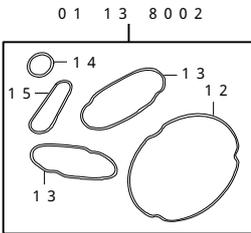
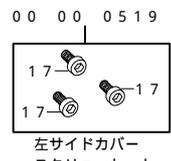
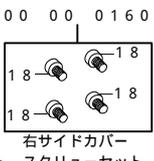
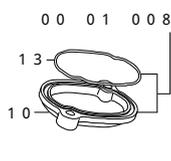
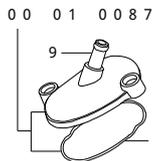
弊社では排気量別に適正なカムシャフトを付属させていますが、オプションカムシャフトを購入される際は、カムシャフトデータ表を参考にし、使用目的に見合ったカムシャフトを選択して下さい。

また、エンジン出力は、使用するマフラー、インレットパイプ長、キャブレター径、圧縮比、点火装置、点火時期、オクタン価などや、気温、気圧といった自然現象により、大きく変化しますのでご注意ください。

~商品内容~



リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。あらかじめご了承下さい。  
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。



番号	名称	数量	リペア品番	入数
1	シリンダーヘッドCOMP.	1	06120 CSM T01	1
2	ロッカーアームCOMP.	2	14431 SPH T01	1
3	ロッカーアームシャフト	1	14451 CSM T00	1
4	カムスプロケット	1	00 01 0079	1
5	カムギヤワッシャ	1	00 01 0022 (ボルト付)	1
6	キャップスクリュー 5×12	2	00 00 0066	4
7	カムシャフトサークリップ	1	00 01 0081	3
8	左サイドカバー	1		
9	ブリザーキャップ	1		
10	インスペクションキャップ	2		
11	右サイドカバー	1	11121 SPH T01	1
12	左サイドカバー-リング	1		3
13	インスペクションキャップOリング	2		3
14	Oリング 15mm	1	01 13 8002	6
15	右サイドカバー-Oリング	1		3
16	キャップスクリュー 5×15 (SUS)	4	00 00 0041	4
17	キャップスクリュー 5×10 (SUS)	3	00 00 0519	3

番号	名称	数量	リペア品番	入数
18	キャップスクリュー 5×12 (SUS)	4	00 00 0160	4
19	マニホールドガスケット	1	00 03 0009	3
20	エキゾーストパイプガスケット	1	00 01 0064	2
21	銅シーリングワッシャ	1		1
22	シーリングワッシャ	3	00 00 0161	3
23	キャップナット 7mm	4		4
24	キャップスクリュー 6×18 (SUS)	1	00-00-0156	4
25	ロックピン 8×12	1	00 00 0153	2
26	ソケットセットスクリュー 6×15	2	00 00 0162	2
27	タペットアダプタスクリュー	2		1
28	タペットアダプタスクリューナット	2	00 01 0132	1
29	ロッカーアームシャフト EX	1	00 01 0258	1
	アルミスベシャル (5g)	1	00 01 0001	1
Tool	L型レンチ 3mm	1		
Tool	L型レンチ 4mm	1		
Tool	L型レンチ 5mm	1		

記号	部品名	数量	リペア品番	入数
A	インテイクバルブ	1	14711 SSM-T00	1
B	エキゾーストバルブ	1	14721 4SM T01	1
C	バルブスプリングアウターシート	2	00 01 0002	2
D	バルブステムシール	2	00 01 0015	2
E	バルブスプリングアウター	2	01 12 0101	2
F	バルブスプリングインナー	2		2
G	バルブスプリングリテーナー	2	00 01 0078	2

記号	部品名	数量	リペア品番	入数
H	バルブコッタ	4	00 01 0018	4
I	ラジアルボールベアリング	2	00 01 0084	1
J	C型リング	1		1
K	スタットボルト 6×32	2	00 01 0085	2
L	O/SバルブガイドIN	1	00 01 0083	1
M	O/SバルブガイドEX	1	00 01 0086	1

印マークは、オートデコンカムシャフト取り付け時は使用しません。

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号  
 TEL 0721-25-1357 FAX 0721-24-5059  
 株式会社 SPECIAL PARTS 武川  
 お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857  
 URL http://www.takegawa.co.jp

## ～シリンダーヘッド取り付け要領～

このキットでは、取り付け要領の説明でフライホイールの調整をSTDフライホイールを使用して説明しています。実走する際には、点火系は必ず弊社推奨品へ交換して下さい。

弊社コンプリートエンジンへ取り付ける場合、サービスマニュアルに従い作業を行って下さい。

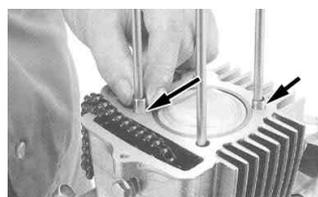
以下の作業はL I F A N製エンジンを基本とした取り付け要領です。

スーパーヘッドにロッカーアームを取り付けます。

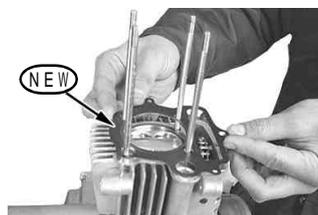
ロッカーアームシャフトに、モリブデン溶液を塗布し、エキゾースト側に取り付け、キット内のロッカーアームシャフトにもモリブデン溶液を塗布し、切り裂き部分がある方をカムチェーン側方向に取り付けます。



インテーク側に同梱パーツシリンダーにキット内の8×14のノックピンをノックピン穴にセットします。



シリンダー上面をよく脱脂します。ヘッドガスケットを取り付けます。



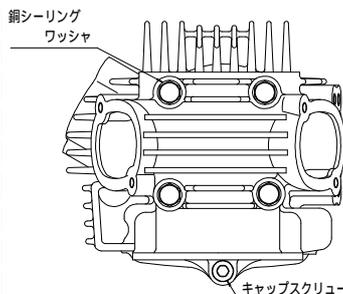
ピストンを上死点に合わせて、シリンダーヘッドを取り付けます。



カムチェーンがクランクケース内に落ちないように固定しておきます。



シリンダーヘッドスタットネジ部にアルミスベシャルを少量塗布し、左下部(オイルライン)にキット内の銅ワッシャ、他の部分にキット内のワッシャを取り付け、キット内のフクロナット4個、キット内のキャップスクリュー6×18を図の様に取り付け、仮締めをします。



スタットボルトのナットを対角に2～3回に分けて規定トルクまで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。  
 $T = 12 \text{ N} \cdot \text{m}$   
(1.2 kgf · m)



シリンダーサイド部のサイドボルト及びシリンダーヘッドサイド部のキャップスクリューを規定トルクまで締め付けます。

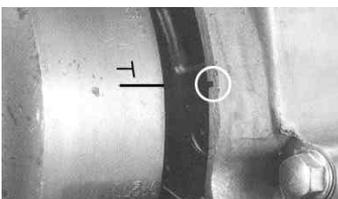
△注意：必ず規定トルクを守る事。  
 $T = 12 \text{ N} \cdot \text{m}$   
(1.2 kgf · m)



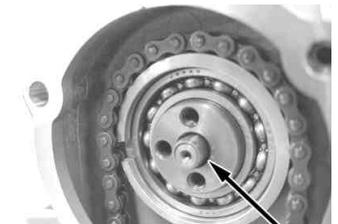
シリンダーのカムチェーンガイドローラーを規定トルクまで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。  
 $T = 10 \text{ N} \cdot \text{m}$   
(1.0 kgf · m)

STDフライホイールを使用し、フライホイールの“T”マークをクランクケースの合わせマークに合わせ、ピストンを圧縮上死点にします。



カムシャフトCOMP.ベアリング部にエンジンオイルを差し、シリンダーヘッドに取り付け、カムシャフトのセンター穴にキット内のノックピン8×12をセットします。



ノックピン8×12

注)カムシャフトにノックピンが圧入されているタイプはキット内のノックピンは使用しません。

キット内のカムシャフトサークリップを取り付け、カムシャフトを止めます。

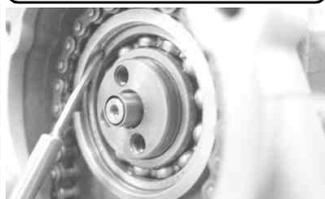
この時、シリンダーヘッドカム穴の切り欠き部を避ける様に、サークリップの合い口を合わせます。



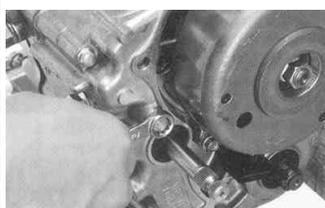
切り欠き部

サークリップ溝にサークリップが確実に、はまっている事を確認します。

△警告：必ずサークリップが溝に、はまっている事を確認する事。



カムチェーンテンショナー部のサイドボルトを取り外します。

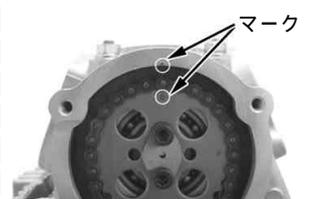


### オートデコンプ無しのカムシャフト取り付けの場合

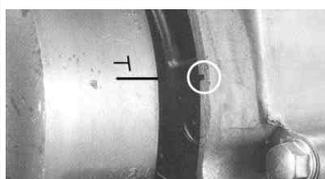
カムチェーンをカムスプロケットに取り付け、キット内のカムスプロケットプレート、キャップスクリュー5×12(黒色)2本を用いて取り付けます。

(この時、キャップスクリューネジ部に少量のアルミスベシャルを塗布します。)

この時、フライホイールの“T”マークをクランクケースの合わせマークに合わせた時、カムスプロケットの“O”マークがシリンダーヘッドの合わせマークと合うように調整します。

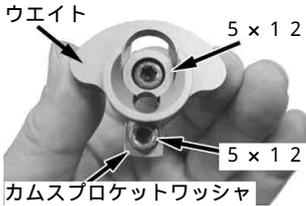


マーク

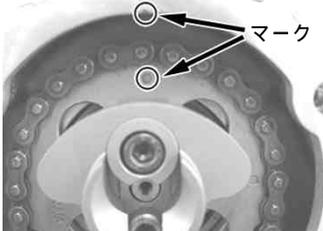


## オートデコンプカムシャフト取り付けの場合

ウエイトにカムプロケットワッシャを通し、キャップスクリュー5×12（黒色）2本を上下の穴にセットします。



カムチェーンをカムプロケットに取り付け、ウエイトを“O”マーク側にして、キャップスクリュー5×12（黒色）2本を用いて取り付けます。（この時、キャップスクリューネジ部に少量のアルミスペシャルを塗布します。）この時、フライホイールの“T”マークをクランクケースの合わせマークに合わせた時、カムプロケットの“O”マークがシリンダーヘッドの合わせマークと合うように調整します。



クランクを固定し、カムプロケットを固定しているキャップスクリューを規定トルクまで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。  
 $T = 10 \text{ N} \cdot \text{m}$   
 (1.0 kgf · m)

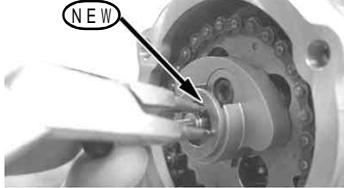


カムシャフトキット内のツマミネジにスナップリング6mm、プレートを通して、カムシャフトCOMP内のシャフトの先端にネジ込み、手前に引き出します。



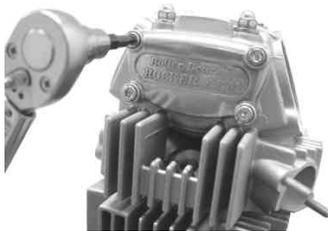
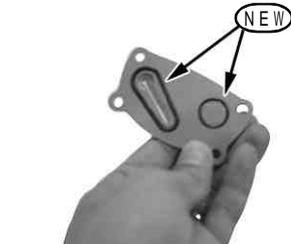
シャフトの溝部にスナップリングを取り付けます。

△注意：スナップリングは必要以上に広げない事。  
 △警告：スナップリングは必ず新品を使用し、再使用しない事。



右サイドカバーのリング2種類に少量のエンジンオイルを塗布し、右サイドカバーに取り付け、キット内のキャップスクリュー5×12を用いて取り付け規定トルクまで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。  
 $T = 6 \text{ N} \cdot \text{m}$   
 (0.6 kgf · m)

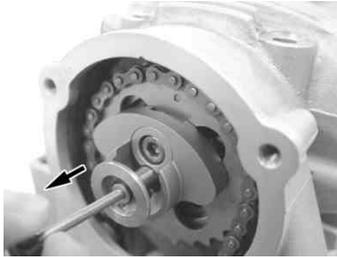


ピストンが圧縮上死点にある事を確認します。アジャストスクリューでバルブリアランスを調整します。  
 IN: 0.05 ~ 0.08 (冷間時)  
 EX: 0.05 ~ 0.08 (冷間時)



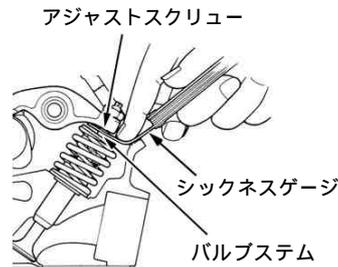
## オートデコンプカムシャフト取り付けの場合

EX側はデコンプ装置が解除されるようカムシャフトのシャフトを手前に引いた状態で調整して下さい。



アジャストナットを規定トルクまで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。  
 $T = 10 \text{ N} \cdot \text{m}$   
 (1.0 kgf · m)



ツマミネジを外します。



キット内の左サイドカバーリングに少量のエンジンオイルを塗布し、左サイドカバーに取り付け、キット内のキャップスクリュー5×10 3本を用いて、シリンダーヘッドに取り付け規定トルクまで締め付けます。

△注意：スクリューは必ず規定の場所に使用する事。  
 △注意：必ず規定トルクを守る事。  
 $T = 6 \text{ N} \cdot \text{m}$   
 (0.6 kgf · m)



キット内のインスペクションキャップリングに少量のエンジンオイルを塗布し、インスペクションキャップに取り付け、インスペクションキャップをキット内のキャップスクリュー5×15を用いて取り付け、規定トルクまで締め付けます。

ブリザーキャップを使用する場合

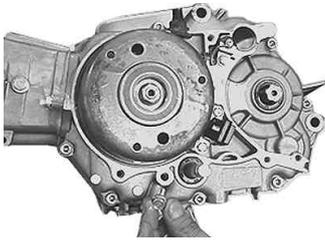
キット内のインスペクションキャップリングに少量のエンジンオイルを塗布し、ブリザーキャップと、インスペクションキャップに取り付け、インテーク側にブリザーキャップを、エキゾースト側にインスペクションキャップをキット内のキャップスクリュー5×15を用いて取り付け、規定トルクまで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。  
 $T = 6 \text{ N} \cdot \text{m}$   
 (0.6 kgf · m)

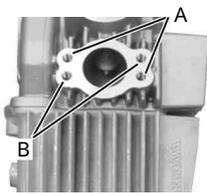


カムチェーンテンショナー部のサイドボルトを締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。  
 $T = 12 \text{ N} \cdot \text{m}$   
 ( 1.2 kgf · m )



STDフライホイールを取り外し、弊社指定の点火系部品を取り付けます。点火系部品はそれぞれの取扱説明書を参照し確実にこなして下さい。エンジンをフレームに取り付けます。マニホールドの取り付けについて弊社推奨のマニホールドを取り付ける場合、シリンダーヘッド側のマニホールド取り付け位置により、向きが変更出来ます。車両に合った向きを選んで下さい。マニホールドの向きを真後ろにした場合、遮熱板が必要になります。

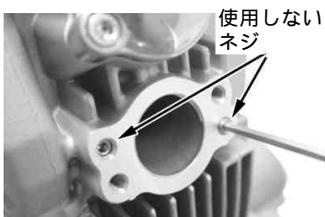


Aの場合 Bの場合



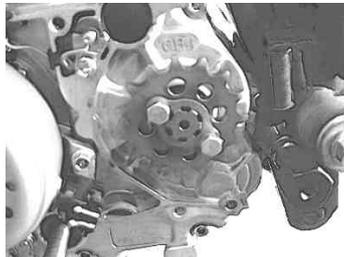
マニホールド取り付けに使用しないネジ部にソケットセットスクリューを取り付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。  
 $T = 5 \text{ N} \cdot \text{m}$   
 ( 0.5 kgf · m )



使用するキャブレターキットの取説に従いキャブレターを取り付けます。ドライブsprocketを取り付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。  
 $T = 12 \text{ N} \cdot \text{m}$   
 ( 1.2 kgf · m )



ジェネレーターカバーを取り付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。  
 $T = 9 \text{ N} \cdot \text{m}$   
 ( 0.9 kgf · m )



エンジンオイルをクラッチキットの指示している量まで入れます。ドライブチェーンを取り付けます。

### エンジン始動

エンジンストップスイッチをON、ガスコックがOFFになっていることを確認します。しばらくキックをし、エンジン各部にエンジンオイルを行きわたらせます。スパークプラグを取り付けます。プラグのネジ部に少量のアルミスベシヤルを塗布し、締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。



### 推奨プラグ

NGK : CR8HSA  
 熱価

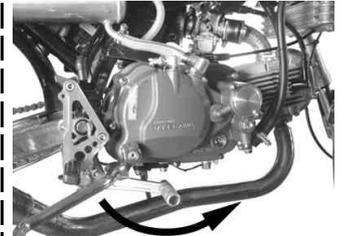
デンソー : U24FSRU  
 熱価

プラグキャップをスパークプラグに取り付けます。エンジンに付着した汚れをよく拭き取ります。ガソリンコックをON、エンジンストップスイッチをOFFにし、エンジンを始動させます。

△警告：必ず換気のよい場所で行う事。

### オートデコンカムシャフト取り付けの場合

エンジン始動の際は、キックスターターアームのストローク量を十分確保した状態で行って下さい。特に、キックスターターアームの取り付け角度を調整し、ストロークを確保してエンジン始動を行って下さい。



ストローク量を確保して下さい

異音など異常が無いかを確認します。異常が無ければ30kmから50km程度慣らし運転をし、再度バルブクリアランスを点検します。

△注意：必ず冷間時に行う事。

100kmから150km位まで再度慣らし運転を行います。慣らし運転終了後、異音やブローバイガスなど異常が無いかを確認します。(異常がある場合は、再度エンジンを分解し、各部を点検する。)

△警告：再使用出来ないパーツは再使用しない事。